

## 棚橋家住宅（国登録文化財）の大改修が完了しました！

約2年にわたる棚橋家の改修工事が8月に完了しました。この建物は明治9年に絞問屋として建てられ、昭和9年から棚橋医院として50年間使われてきた町家で、今回、屋根の葺き替え、土台の交換、耐震補強などの大がかりな改修を行い、今後100年続く建物として再生しました。施主の棚橋恭子さんと設計・監理を担当された三井富雄建築士にお話をうかがいました。

### 一改修工事を終えてのご感想は？

**棚橋** ここまでの大工事になるとは思っていなかったので本当に疲れましたね。事故無く完成して良かったです。三井建築士をはじめ、工務店の方、大学の先生、行政の方など、多くの人に恵まれたことも大きかったですね。

**三井** 工事を始めてみると思いのほか土台が悪くなっていることが判明したため、大改修することをおすすめしました。木造建築は100年に1度、大改修が必要と言われており、そのような時期だったのだと思います。

### 一今回の改修では建物の内部を大きく変更しましたね。

**棚橋** 屋根裏も活用できるように綺麗にして頂いたのには驚きました。

**三井** 単に建物を保存するための修理でなく、その後の活用についても考慮した設計を心がけました。東海道沿いのいくつかの部屋については今後、公開・活用することが可能な設計としています。

### 一棚橋さんの強いご意志があつての大改修だったと思いますが、いかがですか？

**棚橋** やはり私が生まれ育った家だからということもありますが、4年前に国の登録文化財となったことをきっかけに一段と意識が高まりました。個人の財産としての価値だけでなく、歴史的・文化的に価値がある建物であることを認識し、きちんと引き継いでいこうと思うようになりました。

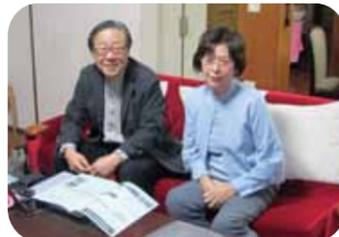
### 一今後、この建物を活用していくにあたっての思いなどをお聞かせください。

**棚橋** まだ工事が終わったばかりなので、建物の活用についてはこれからゆっくり考えようと思っていますところですが、部屋をお貸しする場合は、期間を限定した上で、建物の価値を損なわない使い方をしてほしいと考えています。

**三井** 文化財としての価値をできるだけ損なわないような仕様で改修しました。ですので、ぜひ文化的な使い方をしてほしいと思っています。そのためのルールづくりや、永く保存・活用されていくための経済的な仕組みづくりも必要だと感じています。



大改修を終えた棚橋家



三井さん(左)、棚橋さん(右)



有松の地名の由来を感じさせる巨大な松の梁(写真は工事中)

## ～青空のもと、3輦の山車が有松東海道を進みました～

東海道の無電柱化工事完了後はじめての有松天満社秋季大祭が、10月6日におこなわれました。電線のない青空のもと、伝統的建造物が立ち並び町並みを背景に3輦の山車が有松東海道を進む様子は大変趣き深いものでした。日が暮れてからは、山車に飾られた提灯の灯りにより町並みが照らされ、いつもと違う雰囲気につつまれていました。

現在の山車が曳行されるようになったのは明治時代とされています。明治の人々も同じような風景を見ていたのかもしれないですね。



有松の歴史をいかしたまちづくりへのご意見やご質問は、歴史まちづくり推進室にお寄せください

名古屋市 住宅都市局 歴史まちづくり推進室 担当：坂崎、栗並  
TEL：052-972-2782 FAX：052-972-4485 E-mail：a2782@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp



## 有松町並み保存地区の現状と課題に関する説明会を開催しました

8月に「有松町並み保存地区の現状と課題に関する説明会」を町内会単位で計4回開催し、町並み保存地区制度の概要や保存地区の課題などについて、説明と意見交換を行いました。

各町内での意見交換では「高層の建物が建たないような規制が必要ではないか」「住民の合意を得ながら町並み保存を推進すべき」などの意見が出ました。

⇒概要を中面にまとめましたので、ご覧ください。



説明会の様子(有松コミセン)

## 有松町並み保存地区のあり方に関する説明会を開催します

8月の説明会で皆様からいただいたご意見・ご質問等についてもふまえ、名古屋市では、引き続き住民の皆さんのご意見をお聞きしながら、町並み保存地区の見直しを検討・具体化していきたいと考えています。つきましては、町並み保存のあり方に関する説明会を下記の日程で開催いたしますので、是非、ご参加ください。

### ★説明会の日時と場所

対象町内	日時	場所
有松 西町 有松 中町 有松 東町第一	12月10日(火) 19:00～ 12月15日(日) 14:00～	有松・鳴海絞会館 有松・鳴海絞会館
東丘 第二 東丘 第三 太子 第一	12月13日(金) 19:00～	東丘コミセン

※各日の説明内容は同じです。  
※対象町内以外の方にもご参加頂けます。ご都合の良い日にお越しください。



## 「晩秋の有松を楽しむ会」が開催されました

11/16～18に「晩秋の有松を楽しむ会」が開催され、有松の古い町並み・町家を舞台として、いけばなや有松絞の展示をはじめ、伝統文化にちなんだ各種イベントが実施されました。

3日間で約5000名以上の方が有松東海道を訪れ、有松の町並み・町家の魅力を知っていただく良い機会となりました。また、連日、きもの姿の方も多数みられ、華やかな雰囲気の3日間となりました。



盛況となった有松東海道

# 「有松町並み保存地区の現状と課題に関する説明会」のあらまし

8月の説明会では、町並み保存地区制度の概要や保存地区の課題についての説明と意見交換を行いました。今回の紙面では、その概要を中心にご報告します。

## ■町並み保存地区制度の概要

概ね戦前までに建てられた建物・門・塀を「伝統的建造物」に指定し、重点的に保存を図っています。また、有松町並み保存地区には「東海道沿い」と「周辺地域」の2つの区域があります。

- ・東海道沿い：建物の外観に関する詳細な基準を定め、修理・修景に対する助成を行っています。
- ・周辺地域：建物の外観に関するゆるやかな基準（3階建て以下など）を定めています。

なお、町並み保存地区の基準は、ガイドライン（努力目標）であり、制限ではありません。

今年3月には東海道の無電柱化が完了し、街道沿いの景観が向上しましたが、古い建物の維持には手間と費用がかかり、近年は取り壊される町家も少なくなく、町並みをいかに次世代に引き継いでゆくかが課題となっています。



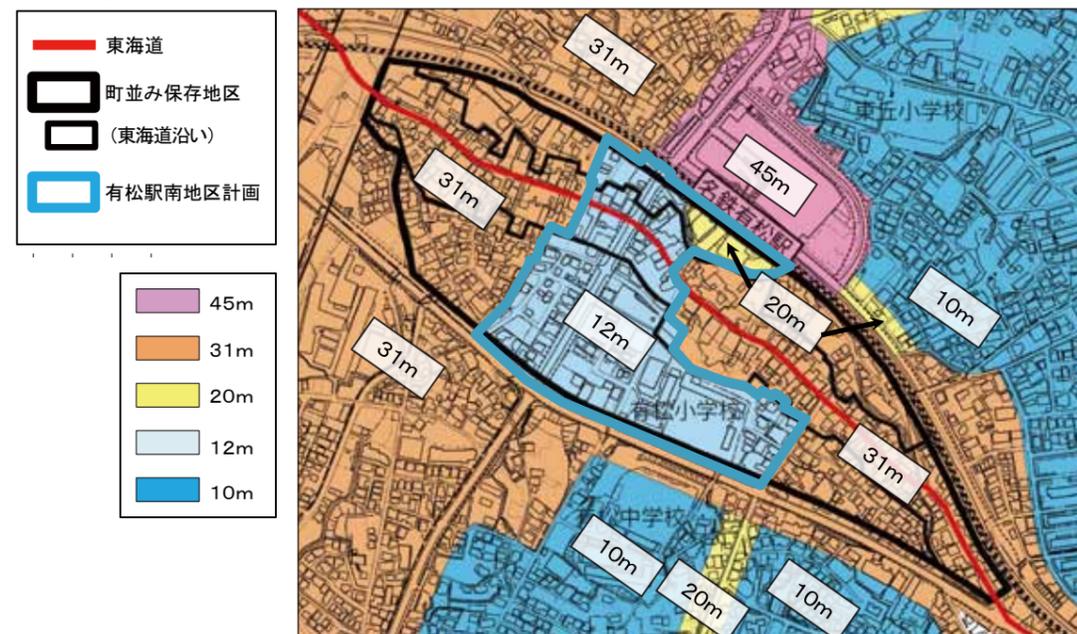
- 伝統的建造物
- 「東海道沿い」(約7.6ha)
- 「周辺地域」(約11.9ha)

町並み保存地区の区域と伝統的建造物の指定状況

## ■町並み保存地区周辺の建物の高さ制限(都市計画)

都市計画で定める建物の高さ制限について、区画整理区域内においては「有松駅南地区計画」が定められており、12m(3階建程度)の高さ制限となっています。

しかし、地区計画の区域外においては概ね31mの高さ制限となっており、今後、周辺の町並みにそぐわない高層の建物が建つ可能性が考えられます。したがって、町並み保存地区全体における高さ制限等を検討することも重要な課題と考えられます。



町並み保存地区周辺の建物の高さ制限の状況

## ■有松町並み保存地区の今後のあり方(次回の説明会で詳しく説明いたします)



東海道沿い

- ・歴史的価値の高い建物が現在も多く残っている。
- ・江戸時代から続く歴史的な町並みが連続して残っている。

重点的に歴史ある建物や町並みの保存・活用を図り、グレードの高いまちを目指すことが考えられます。

例：伝統的建造物群保存地区の導入



周辺地域

- ・周辺地域の建物の高さは、概ね3階建て以下となっており、東海道沿いの町並みと調和した、落ち着いた住宅地が形成されている。

東海道沿いの町並みと調和した、落ち着いた居住環境を将来にわたって継承していくために、建物の高さなどについて実効性のある基準を定めることなどが考えられます。

例：地区計画の見直し(区域の拡大や基準の追加)

## ■説明会における主なご意見

Q. 東海道沿いの町並みは国の重伝建(重要伝統的建造物群保存地区)に選定される見込みはあるか?

昨年から実施している町並み調査によって、東海道沿いには全国的にも歴史的価値の高い建物や町並みが残っていることが分かってきました。今後、住民の合意形成を経て伝建地区制度を導入した場合、国の重伝建に選定される可能性は高いと考えられます。

Q. 地区計画の区域外の高さ制限が概ね31mとなっていることは、驚きであり、問題である。

高層の建物が建たないような高さ制限をできるだけ早期にかけたい。

東海道沿いの町並み保存を図りつつ周辺地域の居住環境を守るためには、住民の合意形成を経て都市計画(高さ制限など)を見直す必要があると考えられます。具体的な手法としては、現在の地区計画区域(高さ制限12mなど)を町並み保存地区全域に拡大することなどが考えられます。

Q. 町並みに関する制限を強化すると、土地や建物の資産価値が下がるのではないかと?

町並み保存は東海道沿いだけで良いのでは? 周辺地域の住民には、メリットがない話ではないかと?

周辺地域においても一定の高さ制限などを定めることにより、東海道沿いの町並みとの調和した落ち着いた居住環境を守ることができるなどのメリットが考えられます。また、その結果、地域全体として、資産価値の維持・向上が図られる可能性もあると考えられます。